

## 第4回「原発と人権」集会 (7/28~29)

## 第7回フクシマ現地調査 (7/29~30)

ぜひご参加ください!

「原発と人権」集会実行委員会・フクシマ現地調査実行委員会によって実施される第4回「原発と人権」集会（7月28～29日・福島大学）と第7回フクシマ現地調査（7月29～30日）の実施要項（申込書付き案内チラシ）をお送りします。

今回は絶妙なタイミングの「原発と人権」集会・フクシマ現地調査となりました。

「福島復興加速化方針」（閣議決定）にもとづく避難指示解除・賠償打切りという“帰還強要策”強行に対し、福島原発事故被害者の切捨ては許さない！という被害者（原告）の固い決意が激しく“ぶつかり合っ”ています。

「国・東電の法的責任」を断罪し、地域を返せ、生業を返せ！を求める裁判闘争が前進しているなかで、第43回全国公害被害者総行動（6月6～7日）の「東電・政府交渉」がおこなわれ、「完全賠償と福島原発全基廃炉」を強く迫りました。その直後の6月14日に東京電力の小早川社長は内堀福島県知事を訪ね、福島復興の“足かせ”となっている「福島第二原発の廃炉」を表明しました。「福島原発ゼロ」が実現します。これを契機に”ほんとうの福島復興“が問われます。

### 「原発と人権」集会

2012年の第1回（豊田誠実行委員長）

に始まり、第2回（淡路剛久実行委員長）第3回（寺西俊一実行委員長）と続き、今回は牛山積先生（フクシマ現地調査実行委員会共同代表）が実行委員長を務め、福島大学関係者の方々の全面的な協力を得て素晴らしい充実した内容が準備されました。■全体会では“被害者・被災地の声”として6人（早川篤雄、伊東達也、津島・佐々木、東京・鴨下、生業代表）が報告します。■裁判闘争の報告を米倉弁護士（被害訴訟）井戸弁護士（差止訴訟）がおこないます。■「被害補償・復興政策の問題点と課題」を鈴木浩さん（福島大学名誉教授）が報告。「フクシマは何を問うているのか」と題する記念講演を高橋哲哉さん（東京大学教授）がおこないます。■五つの分科会があり、各自の選択となります。

## フクシマ現地調査

2013年3月に提訴された四訴訟を支援

するため、同年11月に第1回フクシマ現地調査を行って以来、毎年回を重ね7回目をむかえました。■今回も“名ガイド”の伊東達也・三浦広志さんのお二人にガイド役を引き受けてもらいました。■7月30日の調査ポイントは①楡葉町・宝鏡寺（早川住職の講話）をスタートに②富岡町・JR駅周辺（7年間の推移・変化を確かめ）～◇浪江町（請戸）を経て～③南相馬市小高地区・三浦さん旧自宅周辺（農業再建の取り組み＝「農業基盤整備事業のモデル計画」を聞き）～④いつもの「野馬土」での交流～⑤飯舘村（ソーラーシェアリング・飯舘牛復活に取り組む「飯舘電力」を見学）を予定しています。■宿泊の◇第一夜（7月28日）は、二本松市東和地区”ゆうきの里“の農家民宿に分宿します。各々の農家民宿で“じっくり語り合っ”てください。◇第二夜（7月29日）は、いわき市の“新舞子ハイツ”に宿泊し、いわき市民訴訟原告団のみなさんとの交流を予定しています。